



我々はどこから来たのか 我々は何ものか 我々はどこへ行くのか ゴーギャン

東京立川こぶしロータリークラブ

2011年10月11日

「介護はプロに家族は愛を」

NPO法人ケア・センターやわらぎ

社会福祉法人にんじんの会

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授

石川 治江

1 障害をもった人との出会い

- ・ 仕事をして納税者になりたい
- ・ 地域で普通に暮らしたい
- ・ 外出は「すみません」を発する日々
- ・ 生活支援ボランティア開始

2 駅にエレベーターを設置する運動・・・・・・・・・・「ひとりの夢をみんなの夢に」

- ・ 30年前の駅は上下移動を拒絶していた
- ・ 30年前の街は、高齢者や障害者への配慮は皆無であった
- ・ 障害者とともに「駅にエレベーター設置運動」の開始
- ・ ボランティアの限界を知る

3 24時間365日の在宅福祉サービスの開始・・・・・・・・・・「苦情よありがとう」

- ・ ボランティアの反省から自分に2つの事を課した
「コーディネーターの養成、育成」「様式の整備」
- ・ わが国で最初の24時間365日在宅サービスの開始
- ・ 先生も手本も文献もないないづくしの出発
- ・ 理念は「どんなニーズも断らない、地域を限定しない、いい仲間といい仕事をする」

- 4 「介護」とは何か・・・・・・・・・・・・・・・・・・「介護はプロに、家族は愛を」
 - ・介護保険制度の施行・やわらぎのシステムを取り入れた制度設計
 - ・制度論とサービス論
 - ・介護保険制度と障害者自立支援法
 - ・介護サービスの担い手は地域の雇用を生む・福祉先進国に学ぶ
 - ・「介護」は「行為」である
 - ・死ぬ議論をしよう

- 5 「社会起業家」を生み出す異義と意味・・・・・・・・・・「ひとつの社会実験」
 - ・法人の起源は僧院、大学から
 - ・NPO/NGOの配分しない原則の意味について
 - ・アメリカでは配当しない株式会社が出現⇒株主中心主義ではないNPO的存在
 - ・自由な経営スタイルから生まれる可能性

- 6 専門職が今ほど問われている時はない
 - ・3.11の地震、津波、原発のもたらしたもの
 - ・「意味の担い手」と「意味の受信者」・・・・・・・・・・「社会の課題に向き合う仕事」
 - ・糊付け役が専門職として位置づけられていない

メモ